

消費者団体と北陸農政局との意見交換会（富山県）の概要

日時：令和元年11月6日（水曜日）

場所：北陸農政局富山県拠点4階会議室

北陸農政局は、消費者の農林水産行政に対する信頼確保や理解の浸透を図ることを目的として、「消費者団体と北陸農政局との意見交換会」を開催しています。今回は、「安全で健やかな食生活を送るために ～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～」をテーマに、富山県内消費者団体の代表者等7名と開催しました。



【消費・安全部長の挨拶】

最初に、北陸農政局消費・安全部の二階堂消費・安全部長から、本題である「安全で健やかな食生活を送るために ～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～」のテーマについて忌憚のない意見等、活発な意見交換会となるようお願いの挨拶を行い、開会となりました。

その後、北陸農政局消費・安全部消費生活課からテーマについての説明を行い、出席された消費者団体等の皆様と意見交換を行いました。

最後に、北陸農政局富山県拠点嶋崎地方参事官から、閉会の挨拶を行い、意見交換会を閉めました。



【北陸農政局からの説明】



【意見交換の様子】

【消費者団体との意見交換内容】

○ポテトチップスに含まれるアクリルアミド濃度が事業者の取組によって低減しているとのことだが、具体的にはどういう取組をしているのか。

→事業者が行っている低減対策の一例として、生産・貯蔵段階では、品種の特性に応じた使い分けや、還元糖が増えないような貯蔵をしています。調理段階では、ブランチングや調理時間、調理温度の管理もしており、調理者が正確に調理手順を実行出来るようなトレーニングを行っています。

他にも、加熱後の余熱によるアクリルアミドの生成を抑えるような設備を導入するなど、事業者においていろいろな取組を行っています。

○例えば圧力鍋や電子レンジで調理した場合、アクリルアミド濃度は低減できるのか。

→電子レンジはマイクロ波を出して、水分子を振動させて熱を生じさせて、食品を加熱していますので、水分の多い野菜は当然、水分子なので100℃以上には上がらないため、アクリルアミドの低減の下処理としては有効と考えています。

圧力鍋については、120℃を超えてしまうような圧力鍋が販売されています。農林水産省は平成28年度に委託事業として研究を行い、炊飯条件を変えて実験した結果、全てでアクリルアミドは生成されましたが、炊飯器具の違いによるアクリルアミド濃度にあまり違いはありませんでした。また、カレールーとか根菜類についての研究でも、圧力鍋を使わない時とはあまり差はないという結果でした。この研究の結果は農林水産省のホームページにも掲載されています。

○食品が焦げてしまった場合、どの範囲までいいのか。また、国際的評価、海外の取組はどのようなのか。

→焦げた食品ばかり食べているわけではないと思いますので、気にされることはないと思いますが、焦げた部分はあまり食べない方がいいと思います。アクリルアミドは遺伝毒性発がん性を持っているので、この量まで食べても大丈夫という許容量は決められていません。

海外の取組として、アメリカでは、FDA（アメリカ食品医薬品局）がばれいしょ加工品、穀類加工品などを対象とした農産物生産者や食品製造業者、外食事業者向けの、「アクリルアミドに関する業界向けガイダンス」日本でいう指針を公表しています。EUにおいても、欧州委員会がEUの領域内の食品事業者にアクリルアミドの低減対策、導入した低減対策の有効性を確認するためのモニタリングを義務づけています。

○普通、炒め物というのは強火で瞬時に一気に仕上げるものと思うが、弱火にするというところが、ちょっと気がかりで、ベタッとして歯ごたえがなくなってしまうような気がします。例えば、フライドポテトの場合、二度揚げするとどうなるのか教えてほしい。

→加熱温度が低いと加熱温度が高い時に比べて加熱時間が長くなりますが、生成するアクリルアミドの量自体は加熱温度が低い方が少なくなります。本日紹介した低減方法を参考に工夫して調理していただければと思います。

二度揚げすることにより揚げる時間が短くなれば、ずっと揚げ続けるよりアクリルアミド濃度は低くなっている可能性はありますし、二度揚げすると食感も良くなるのではないかと思います。揚げ色については、出来るだけ薄い揚げ色にするなどの工夫をしていただければと思います。

意見交換会出席者

【消費者団体】（6団体、6名）

富山県消費者協会、J A富山県女性組織協議会、
富山県婦人会、富山県生活協同組合連合会、
（公社）富山県栄養士会、（公財）富山県学校給食会

【富山県】

富山県農林水産部農林水産企画課

【講師】

北陸農政局消費・安全部消費生活課

【北陸農政局】

北陸農政局消費・安全部長

北陸農政局消費・安全部消費生活課長

北陸農政局富山県拠点地方参事官 等